

## 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「SBI岡三NASDAQ AIアクティブファンド」は、このたび、第3期の決算を行いました。

当ファンドは、SBI岡三NASDAQ AIアクティブマザーファンドを通じて、主として米国のNASDAQ上場株式（これに準ずるものを含みます。）に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 第3期末(2025年12月12日)

基準価額	13,163円
純資産総額	1,873百万円
第3期	
騰落率	29.8%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、SBI岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

# SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブファンド

追加型投信/海外/株式

ファンドは特化型運用を行います。

作成対象期間：2025年6月13日～2025年12月12日

## 交付運用報告書

第3期(決算日2025年12月12日)

**SBI 岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2025年6月13日～2025年12月12日)



期首：10,142円

期末：13,163円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率：29.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、NASDAQ総合指数(配当込み)[円換算後]です。参考指数は、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて当社が算出しております。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、後掲の「当ファンドの参考指数について」をご覧ください。(以下同じ。)

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、期首(2025年6月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の変動要因

当ファンドの主要投資対象である「SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- ・業種配分では、半導体・半導体製造装置、ソフトウェア・サービス、テクノロジー・ハードウェアおよび機器などがプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、APPLE INC、NVIDIA CORP、BROADCOM INCなどがプラスに寄与しました。
- ・米ドルの対円での上昇がプラスに寄与しました。

## (主なマイナス要因)

- ・業種配分では、商業・専門サービス、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス、生活必需品流通・小売りなどがマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、NETFLIX INC、FORTINET INC、INTUIT INCなどがマイナスに影響しました。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年6月13日～2025年12月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	59	0.500	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(46)	(0.386)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(12)	(0.105)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.036	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 4)	(0.036)	
(c) そ の 他 費 用	3	0.025	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	66	0.561	
期中の平均基準価額は、11,844円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

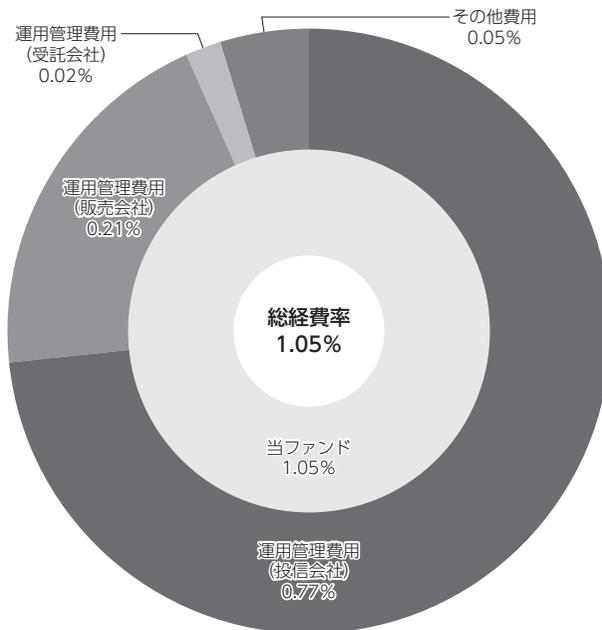
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2020年12月14日～2025年12月12日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) NASDAQ 総合指数(配当込み)[円換算後]は当ファンドの参考指数です。

(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2024年6月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2024年6月28日 設定日	2024年12月12日 決算日	2025年12月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,385	13,163
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	3.9	26.8
NASDAQ総合指数(配当込み) [円換算後]騰落率 (%)	—	6.5	21.1
純資産総額 (百万円)	538	1,660	1,873

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年12月12日の騰落率は設定当初との比較です。

## 投資環境

(2025年6月13日～2025年12月12日)

米国株式市場は上昇しました。期初から2025年7月にかけては、米国と日本や欧州連合（EU）との関税交渉の合意が発表されたことで関税政策による景気悪化懸念が和らぎ、株価は上昇しました。8月以降は、軟調な雇用統計を背景に利下げ期待が高まったほか、企業決算が好調に推移したことから、続伸しました。11月から期末にかけては、生成人工知能（AI）関連のハイテク銘柄を中心に株価の過熱感が意識され、一時調整する場面が見られたものの、複数の米連邦準備制度理事会（FRB）高官が12月の利下げに対して肯定的な姿勢を示したことが好感され、下落分を取り戻す展開となりました。こうした中、NASDAQ総合指数（配当込み）は上昇しました。

為替市場では、米ドル高/円安が進行しました。2025年9月にかけては、もみ合う展開が続きました。10月以降は、高市政権による積極財政方針が意識されたことなどから、米ドル/円は上昇基調で推移しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月13日～2025年12月12日)

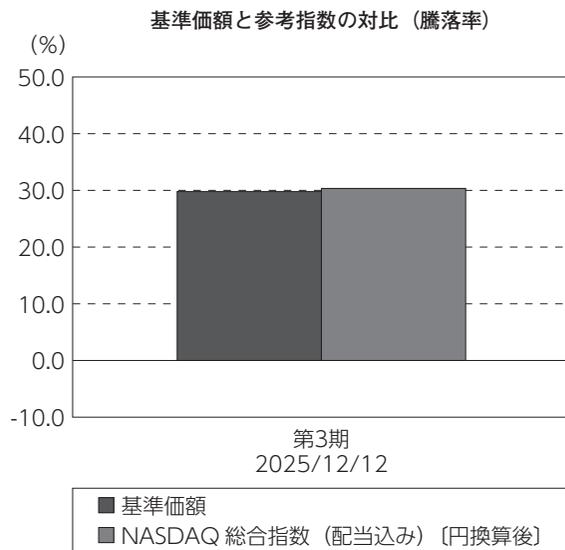
当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行い、実質株式組入比率を高位で推移させました。

マザーファンドにおいては、運用方針に則り、AIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築しました。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月13日～2025年12月12日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、NASDAQ総合指数（配当込み）（円換算後）です。

## 分配金

(2025年6月13日～2025年12月12日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりいたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位:円、1万口当たり・税引前)

項 目	第3期
	2025年6月13日～ 2025年12月12日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,162

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

米国株式市場は、やや神経質な相場展開を予想します。良好な企業業績が株価の下支え要因として働くことが期待される一方で、短期的にはAI関連株を中心に過熱感が意識されやすいと見ています。次期FRB議長人事を巡る報道も相場の変動要因となりそうです。リスク要因としては、プライベートクレジット市場の不透明感や大幅に増加したAI投資の利益回収の遅れが強く意識される可能性などが挙げられます。

当ファンドの運用につきましては、マザーファンド受益証券への投資を通じた実質株式組入比率を高位に推移させる方針です。

マザーファンドの運用につきましては、運用方針に則り、AIによる投資候補銘柄の予測リターン順位を基に、定量アプローチによるリスクコントロールを行い、ポートフォリオを構築する方針です。資金フローに対応しつつ組入比率を高位で維持しながら、月毎にAI予測や定量データの変化を基にポートフォリオを見直します。

## お知らせ

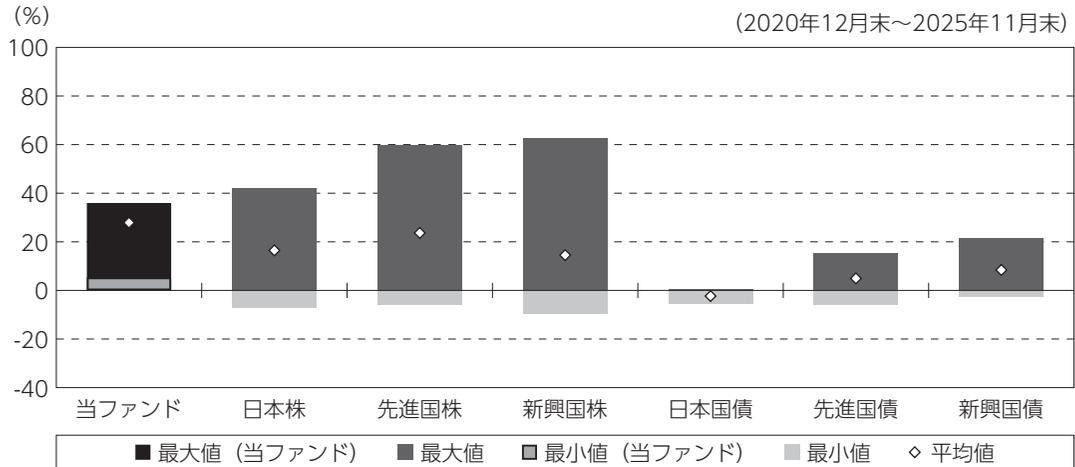
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年6月28日から2045年6月12日までです。	
運用方針	SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、主として米国のNASDAQ 上場株式（これに準ずるものを含みます。）を投資対象とし、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド	米国のNASDAQ 上場株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド	運用にあたっては、NASDAQ 上場株式の中から流動性や信用リスクを勘案の上、投資候補銘柄を抽出したのち、ファンダメンタルズ指標やテクニカル指標から人工知能（AI）が投資候補銘柄の予測リターン順位を推定します。
分配方針	毎年6月12日および12月12日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.0	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	5.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	27.9	16.5	23.6	14.5	△ 2.3	4.9	8.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年12月から2025年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2025年6月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

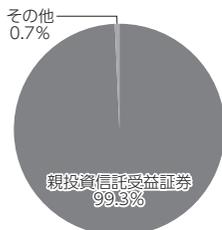
## 組入資産の内容

(2025年12月12日現在)

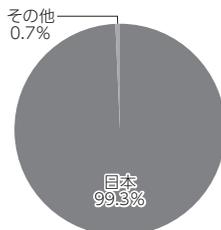
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第3期末
SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド	99.3%
組入銘柄数	1銘柄

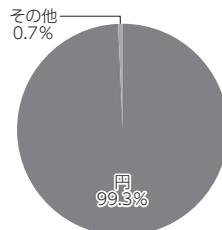
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

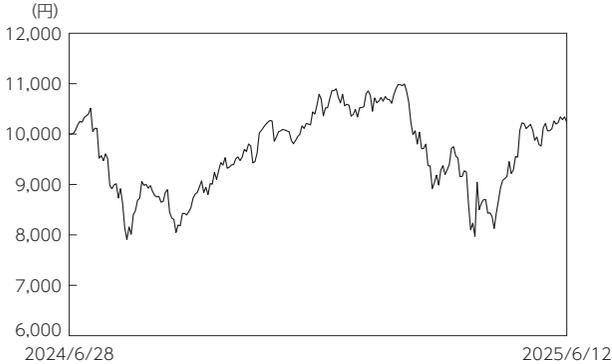
項目	第3期末
	2025年12月12日
純資産総額	1,873,481,749円
受益権総口数	1,423,325,418口
1万口当たり基準価額	13,163円

(注) 期中における追加設定元本額は339,799,038円、同解約元本額は546,114,848円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI 岡三 NASDAQ AI アクティブマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2024年6月28日～2025年6月12日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	12 (12)	0.130 (0.130)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.005 (0.005)
(c) その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.045 (0.044)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	16	0.180

期中の平均基準価額は、9,611円です。

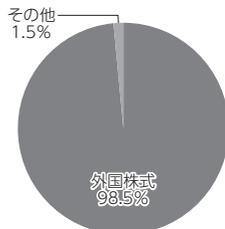
(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

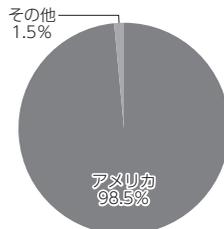
(2025年6月12日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	10.4
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	9.1
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	6.5
4	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	5.7
5	NETFLIX INC	メディア・娯楽	米ドル	アメリカ	5.0
6	COSTCO WHOLESALE CORP	生活必需品流通・小売り	米ドル	アメリカ	4.5
7	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	米ドル	アメリカ	3.5
8	INTUIT INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	3.3
9	BOOKING HOLDINGS INC	消費者サービス	米ドル	アメリカ	3.0
10	KLA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	3.0
	組入銘柄数		31銘柄		

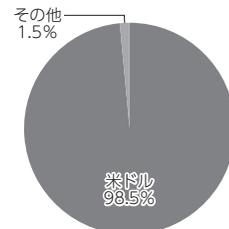
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。  
 (注) 国(地域)および国別配分につきましては発行国を表示しております。  
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### ＜当ファンドの参考指数について＞

Nasdaq<sup>®</sup>は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「Nasdaq 社」と総称します）の登録商標であり、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が使用許諾を受けています。Nasdaq 社は、SBI 岡三アセットマネジメント株式会社が設定するアクティブ・ファンドの運用プロセス、または当該ファンドのマーケティングまたは取引に関連して、いかなる関係も責任も負いません。当該アクティブ・ファンドとその運用プロセスの合法性または適格性はNasdaq 社によって保証されたものではありません。当該ファンドは、Nasdaq 社によって発行、承認、販売、または販促されるものではありません。また、Nasdaq 社は、当該ファンドに関していかなる保証も行わず、責任を負いません。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### ○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

#### ○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。